



未来を担うこれからの建材

透水性コンクリート

- 従来1日仕事になりがちな土間コンクリート施工に比して、新時代の土間コンの利点として、
- 「メッシュ配筋不要のため作業効率改善」
 - 「水が上がってこない(ブリーディングがない)ため、仕上げが30分(住宅外構規模)で済む」
 - 「水を透すコンクリート(透水性コンクリート)であるため水勾配・水はけを考慮しなくてもいい」
 - 「表面が粗面(ポーラス構造)であるため、ひび割れ色むらが問題となりづらくクレームが発生しない」



これまでの土間コンの常識

- ブリーディングや仕上げなどで作業が1日仕事となる。
- 左官屋さんと生コン屋さんの予定が合わず工期がずれる。
- メッシュ配筋施工の面倒と打設中の足元の面倒。
- いつも頭を悩ませる水勾配の問題。
- 土間コン表面に発生する「色むら」と「ひび割れ」でお施主さんとトラブル。
- その他、面倒くさい事が沢山。



新しい土間コンの常識

- 夕方から打てる土間コン、完成までたったの30分(住宅外構)。
- 午後なら生コン屋さんの予定も入りやすい。
- 水勾配を考えなくてもいい、透水性コンクリート。
- メッシュ配筋の設置不要、打設作業も楽。
- ペーストがないから「色むら」がない「ひび割れ」が見えない。
- その他、メリットが盛り沢山。

透水性コンクリート・ドライテックの特徴

高強度

ドライテックは、透水性舗装材に求められる空隙を多く持つポーラス構造でありながら、表面強度・曲げ強度に優れ、コンクリート舗装材として十分な強度を長期的に保持します。

透水・保水性能

ドライテックは内部にポーラス構造と呼ばれる多くの空隙があり、雨水を透水・保水しながら地中へ浸透させるため、水溜まりができたり雨水が下水に集中するのを防ぎ、地下水系への影響を最小限に抑え安定化させます。

耐久性

透水性ポーラスコンクリートドライテックは、無機バインダーを使用することにより、長期間、強度を維持し、透水性アスファルトなどで発生する修復不可能な空隙のつぶれなどを生じることがありません。

快適性

店舗・住宅のエントランス・駐車場など雨の日も水溜まりがなく、お客様に快適に歩行して頂けます。

意匠仕上

ダイレクト仕上、ダイレクトカラー仕上、ダイレクト撒石仕上、石材仕上、タイル仕上など様々な景観に応じた意匠を提供することが出来ます。

経済性

施工に際しては特別な設備・機械が必要なく、コンクリート舗装と同程度のコストを実現しました。特殊骨材・樹脂系特殊バインダーを使用しないため、特別な設備も必要なく生コンプラントで簡易に製造、配送することができます。

自然環境の保全

雨水が循環するため地中構造が自然状態に近く、地下水の枯渇抑制、地盤沈下の防止、生態系の保護など自然環境保全に効果を発揮します。

環境性

ヒートアイランド現象の抑制

透水機能で保水された地中水分と通気機能による地中からの水分蒸散は、直射日光による路面温度の上昇を抑え、ヒートアイランド現象を抑制します。

作業性

材料製造の容易性・利便性

ドライテックは、高品質な透水性舗装材を生コンプラントで製造することができ、住宅などの小規模の現場はもとより大規模な透水性コンクリート舗装現場においても施工できます。製造方法、施工方法は施工面積や規模により異なりますが、透水性舗装材の製造・施工において特別な設備・施工機材は必要としません。無機主体の水系タイプで、作業時に取り扱いやすく、安全性にも優れています。